

2025年4月吉日

BIPROGY 研究会
北海道支部 会員各位

BIPROGY 研究会
研究活動 運営委員会

2025年度 研究活動 参加者募集のご案内

拝啓 日頃よりBIPROGY研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

BIPROGY 研究会では会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題や社会課題等を研究テーマとし、テーマに関する知見を取得するのみに留まらず課題を克服すべく仮説を立て検証し、研究活動成果を報告書として取り纏め発表していただく、研究活動を行っています。

ビジネスヒントの発掘や企業の枠を超えた人材育成、異業種交流の場などの目的としてご活用ください。

活動を通じて自社へ活動成果を持ち帰っていただけるよう、研究グループ毎に BIPROGY グループ社員によるアドバイザー制度を設け、運営メンバー、事務局もフォローさせていただきます。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

1. 研究活動の目的：

- ・異業種交流(社外の年齢や経験、役職の枠を超えたメンバーとの交流)
- ・人材育成(課題解決、仮説検証、チームビルディング、プロジェクトマネジメント、ファシリテーション、ドキュメンテーション、プレゼンテーション、コミュニケーション能力の向上)
- ・業務外分野探求への挑戦(失敗を恐れずチャレンジできるプロジェクト)
- ・働き方改革による新しい活動形態への挑戦
- ・活動成果の社外への発信(発表会や Web 掲載を通して参加者・参加会社の知名度アップ)

2. 研究テーマ：

テーマは研究メンバーでお話し合いのうえ決定いただきます。

テーマの元となるキーワード案は、添付の「2025 年度研究活動キーワード/テーマ案」をご参照ください。

3. 参加資格：

BIPROGY 研究会会員企業(企業の方であればどなたでもご参加いただけます。)

主体的に取り組む意欲のある方を募集いたします。

4. 参加費用:

- ① 本年度研究活動費として1企業あたり、 ¥20,000 を申し受けます。
 - * 参加人数に係わらず、1企業あたり、 ¥20,000
 - * 参加メンバー確定後、「連絡責任者」へ参加費用をご請求させていただきます。
- ② 活動のための移動交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

5. 申し込み方法:

2025年5月21日(水)までに以下のサイトよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/sZtFCYMDYY>

6. 研究活動の運営について:

- ① グループ活動は1グループ5~8程度とさせていただきます。
- ② 主体はご参加いただくグループメンバーの皆様です。
基本的にはグループに参加された方の自主活動です。
また、BIPROGY グループもアドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

7. 今後の予定:

- ① 活動期間:
本年5月より3月末までの研究活動で、グループにより差がありますが、月2~3回程度の会合を見込みます。
 - * 参加者の方へ
業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありません。各メンバーの進行状況を考慮の上、無理のない計画で活動を進めてください。
 - * 参加者の会社の方へ
参加者が活動しやすいよう、社内調整やバックアップにご協力いただきますようお願いいたします。
- ② 発足式及び第1回目会合:
5月28日(水) 15:00~17:30 を予定しております。(終了後に懇親会を開催予定)
詳細はお申し込み後に個別にご案内させていただきます。
- ③ サマースクール:
各グループのリーダー・サブリーダーを対象に、9月5日(金)~6日(土)に中間報告をしていただくサマースクールを開催予定です。
- ④ 活動報告書提出:
来年1月下旬に活動成果を「研究活動報告書」として提出していただきます。
 - * 研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の表現力・構成力はもとより、実用性・有効性、先進性・独創性・独自性などの面を考慮して査読審査をさせていただきます。
- ⑤ 全国発表会:
来年3月6日(金)に「研究活動成果発表会」としてグループメンバー以外の方々に向けて発表をしていただきます。

8. お問い合わせ先:

BIPROGY 研究会 北海道支部事務局

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目32 BIPROGY(株)北海道支店内

TEL: 011-558-1111 (平日 9:00~17:30)

e-mail: biprogy-ken-hokkaido@biprogy.com

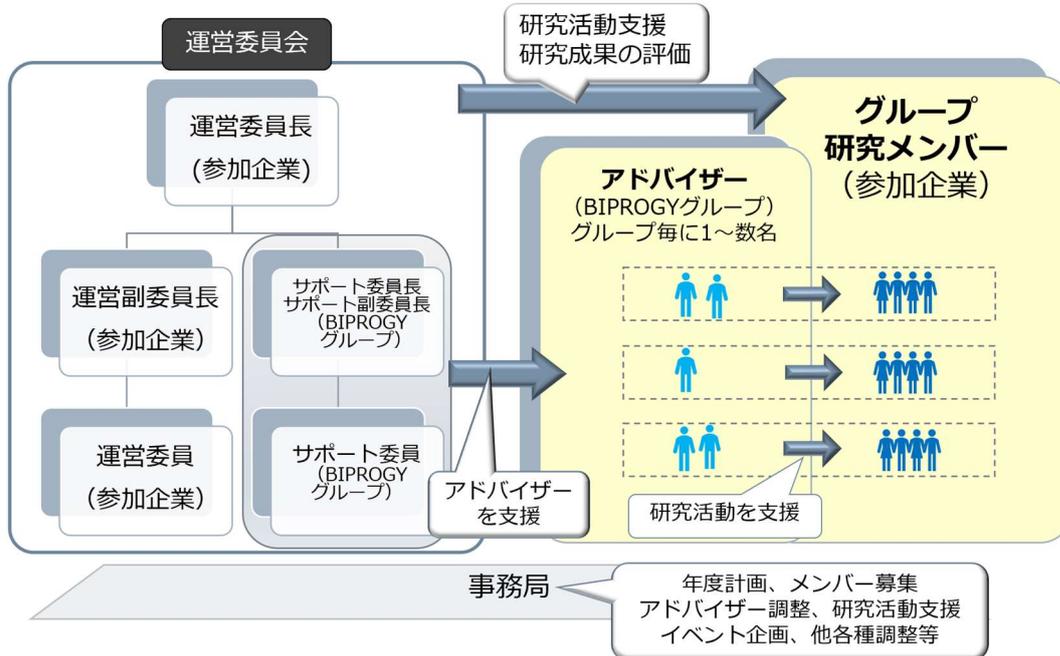
9. その他:

ご報告いただいた研究活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料その他資料を含みます。)の著作権は著作者に帰属するものとします。但し、著作者は、BIPROGY 研究会が情報発信する機関誌や Web サイトにおいて、著作者の研究活動成果の掲載・配布に関する権利(個人名・会社名・所属先の公開を含みます。)を BIPROGY 研究会に無償で許諾するものとします。

以上

■ 研究活動を支える体制

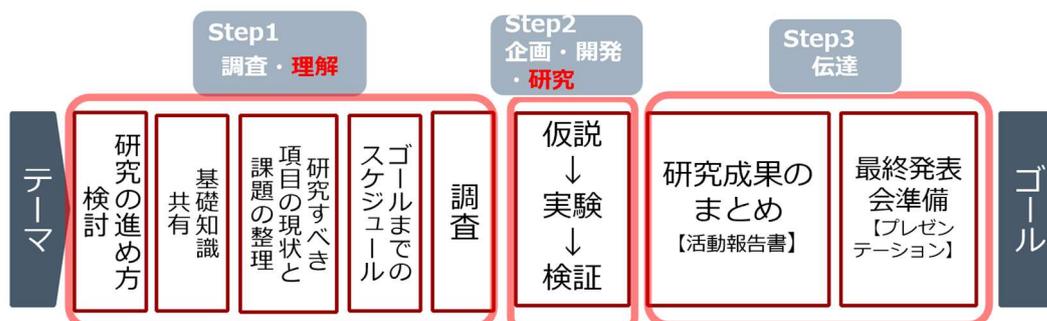
- 皆様の研究は、運営委員、サポート委員、アドバイザー、事務局が支援



■ スケジュール



■ 研究活動とは



2025 年度研究活動キーワード/テーマ案

No.	キーワード / テーマ案
1	次世代型スマート・シティ
2	情報の信頼性/フェイクニュース
3	リスクリング、IT 人材不足
4	AI による業務効率化
5	パートナー戦略
6	リモートワークの最適化
7	AI 拡張型開発 (AI 拡張型ソフトウェアエンジニアリング)
8	クラウドセキュリティの強化
9	デジタル・ヒューマン
10	生成 AI の活用とそのリスク

※ここに記載されているキーワード/テーマ以外の選択も可能です。

※具体的なテーマタイトルならびに活動内容につきましては、グループ形成されたメンバーの皆様でご検討いただきます。